

新潟焼山を知って ・ 備えて ・ 楽しむ活動

糸魚川ジオパーク
マスコットキャラクター



ぬーな

糸魚川ジオパーク協議会
小河原 孝彦

Fossa Magna Museum



ジオまる

糸魚川ジオパークとは？

- ① ふるさとを知り・学び・発見することで、その**価値を再認識**する
- ② ふるさとの価値を守り・活かし・伝えることで、**愛着と誇りを醸成**する
- ③ ふるさとの価値を高め・国内外に発信することで**交流人口を拡大**する

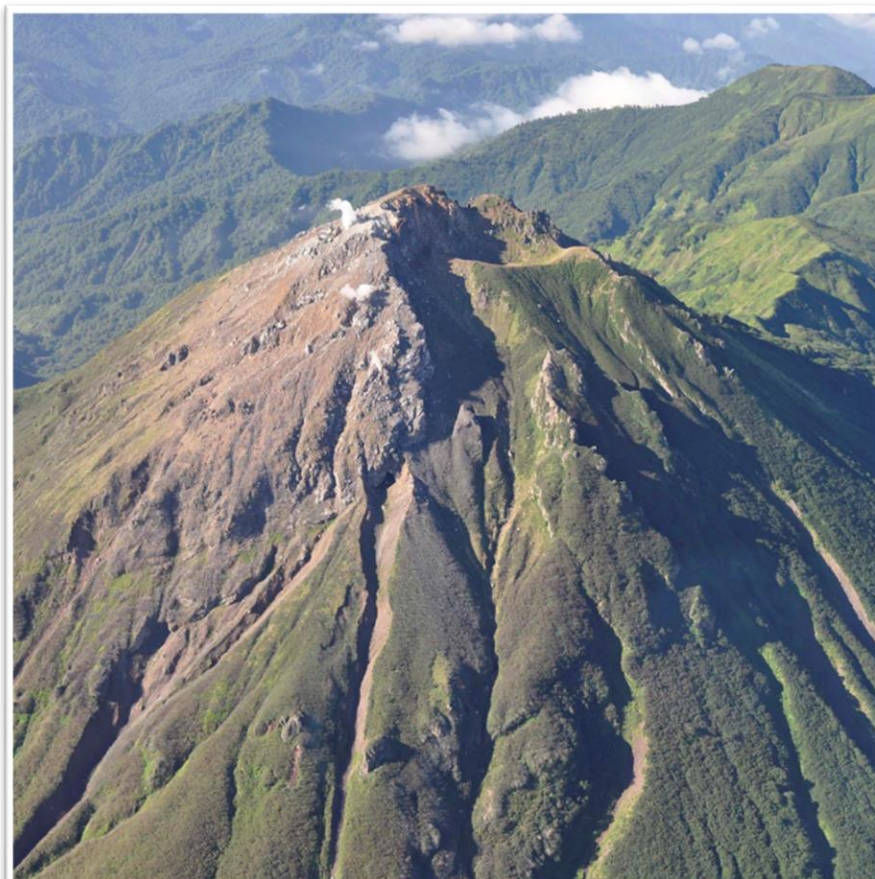


そのために、
市民・行政・研究者・関係者...が一体となった

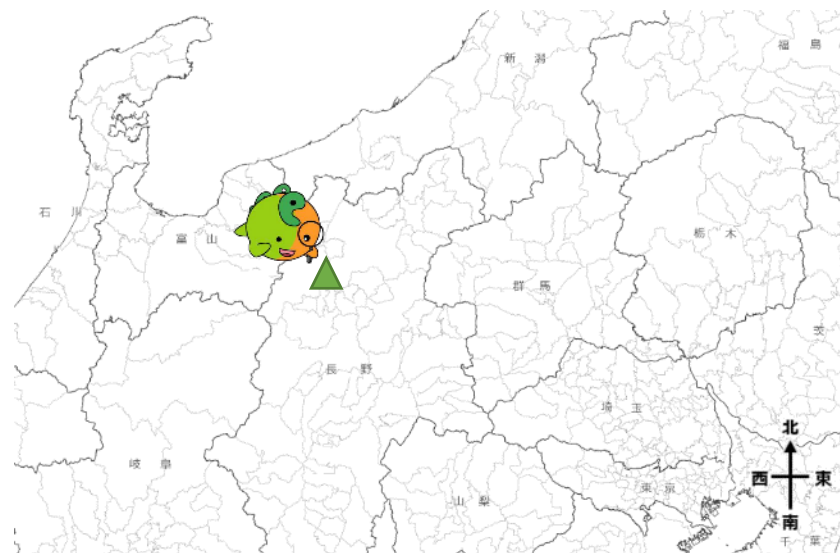
(第2期 糸魚川ジオパーク戦略プロジェクト)

ボトムアップの活動が求められている

活火山新潟焼山(2,400m)



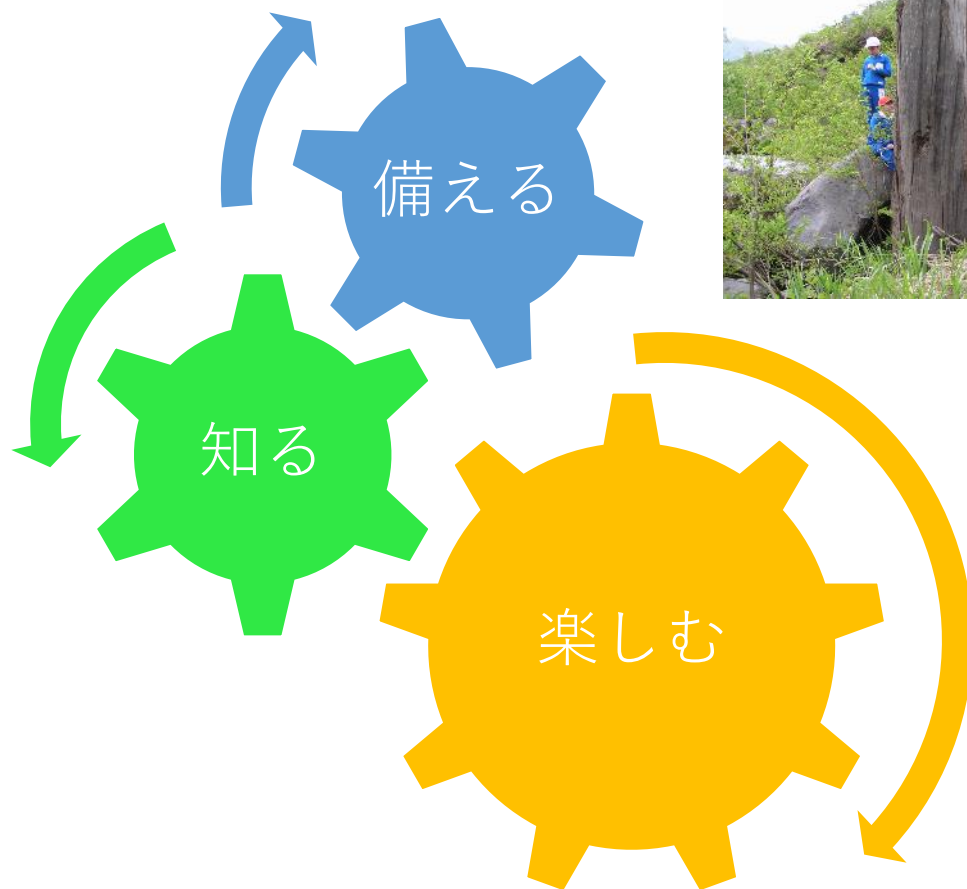
- 3,000年前に誕生
- 三度の大噴火
- 気象庁の常時観測火山



糸魚川ジオパークのテーマの一つ

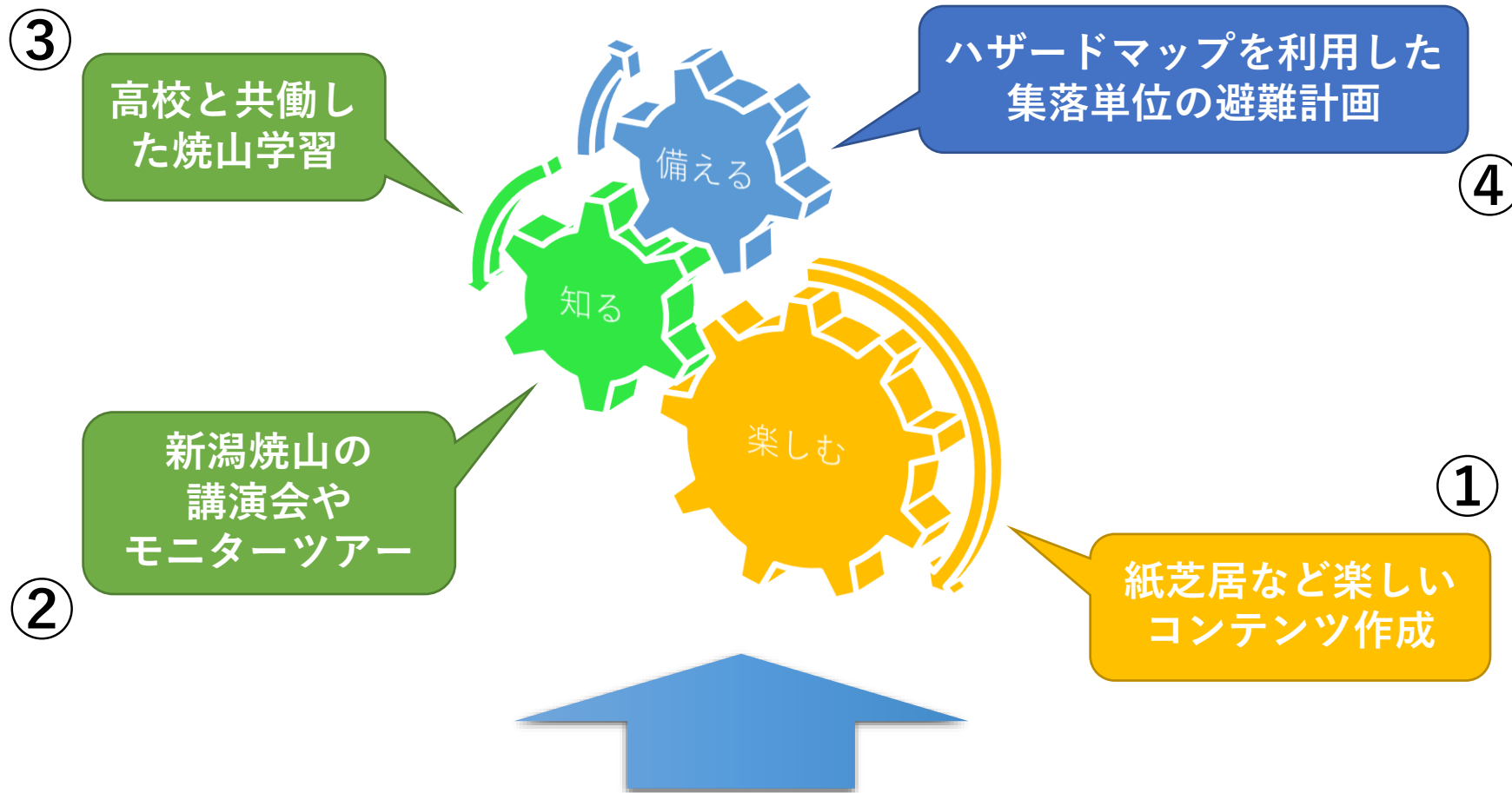
“活火山「新潟焼山」の恵みと災害を知る”

すごさを知る



楽しくなければ、知ろうとは思わない。
糸魚川や地球の「すごさ」を知っているから、備えたくなる・守りたくなる

活動の目標



①楽しいコンテンツ

焼山の成立ちと防災について、
大人だけではなく、子どもにも分かりやすく伝えたい

地元の紙芝居作家、故・中村栄美子さんと共同した

- ・新潟焼山とはどんな山だろう？
- ・噴火したときはどうすれば良いのだろう？

が楽しく学べる紙芝居の作成

※紙芝居の絵については、糸魚川白嶺高校の美術部をお願いしている



①紙芝居の作成



コロナの関係で遅れていますが、



糸魚川白嶺高校の美術部の生徒さんと鋭意作成中

3月中に紙芝居を作成し、市内の保育園・幼稚園や図書館に配付予定

②焼山を知る

フォッサマグナミュージアムの山の特別展に合わせて講演会を実施(7月22日)



01

VR 展示
糸魚川の山
180度の大スクリーンで、
糸魚川の山をバーチャル体験!!

02

特別天然記念物を
間近で見よう
ライチョウ

03

拇海新道伐開の歴史を
貴重な資料で振り返ろう
伐開の歴史

04 記念講演会

糸魚川の
山の魅力を語る

日時: 7月22日 ①・② 13:30～16:00
会場: フォッサマグナミュージアム ホール
定員: 40名(予約制)

📄 〻

竊本 修一さん
拇海新道友会
「岳人のあこがれ!!
拇海新道の魅力」

樋口 善栄さん
焼山愛好会
「焼山の魅力」

新潟焼山の登山道を管理している焼山愛好会の樋口善栄さんに、その魅力について講演していただいた。



糸魚川フォッサマグナミュージアムでは、山の特別展で新潟焼山を含む糸魚川にある山の魅力を紹介した
会期: 7月22日～11月30日(コロナで会期延長)

[illegible]

- ・過去の噴火(1974年)の様子について体験者が語る
- ・火山だけではない「水の魅力」を伝えてほしい

テーマ

11月3日実施

地元との対話で、新たな魅力「水の恵み」について考えるツアーを設定することができた

②地元協力のジオツアー



地域の方と対話しながら焼山の魅力と災害について再発見できた



③高校生と共に学ぶ

糸魚川市内にある糸魚川白嶺高校と共働で焼山の防災学習を進めた

糸魚川白嶺高校の生徒と共に、

- ・新潟焼山について簡単な説明
- ・新潟焼山の何について学習したいか、アイデア出し



ワークショップで出たアイデアを元に、今後の学習内容を検討



一方的に教えるのではなく、
皆で一緒に考える活動



③高校生と共に学ぶ

新潟大学 片岡教授

新潟県の活火山

- ・活火山とは、今から約1万年前から現在までに噴火をした記録がある火山及び現在活発な噴気活動のある火山のことです。
- ・日本の活火山の数は現在111個！

・新潟焼山

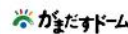
今から3000年前にできた火山。火山としては若い火山で、2016年春にごく小規模な水蒸気噴火を起こしました。1974年の噴火では山頂付近で噴石にあたった3人がなくなりました。

・妙高火山

新潟県と長野県の県境付近にある火山で、大規模な火砕流や山体の崩壊を繰り返し起こしています。



島原半島ジオパーク 杉本さん・森本さん



2021年12月22日
糸魚川白嶺高等学校



火山防災エキスパートとの放課後学習会 ～島原半島ユネスコ世界ジオパーク～



数日前に撮影した平成新山

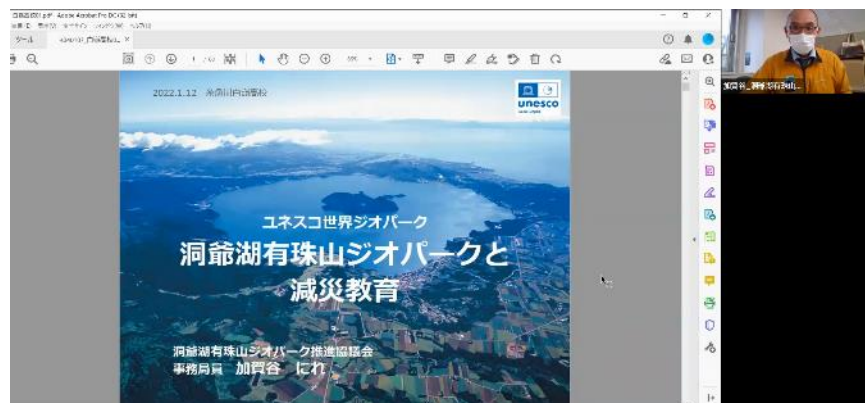
元島原市職員

雲仙岳災害記念館 館長 杉本伸一
(火山防災エキスパート)

島原半島ジオパーク協議会事務局

専門員 森本 拓

洞爺湖有珠山ジオパーク 加賀谷さん



糸魚川ジオパークのネットワークを生かして、他地域の火山の実例を高校生と共に学びました



➡ 学習の成果を2月4日の室戸ジオパーク主催の国際交流会で発表

③高校生と共に学ぶ



学習した成果を生徒自身の力で発表することができた



2月4日
の交流会

④ハザードマップの活用

今までの新潟焼山の防災学習

学芸員・専門員 ➡ 地元住民

今回の防災への取組み

地元住民＋学芸員・専門員＋ネットワーク

9月19日に地元と、ハザードマップの活用方法について検討

出た意見として印象に残っているフレーズは、

「私たちは、シャイなんだわ」

- ・大きな会場(公民館)に集められたのでは、自分の意見が言えない。
- ・集落ごと(集会場ごと)なら本音と言える。
- ・気になるのは火山災害だけではなく、洪水や土砂災害は？

➡ 公民館単位ではない、地区単位の
ボトムアップで実施するきめ細やかな防災学習の推進

④ハザードマップの活用

気候変動と最近の気象災害

最近の新潟焼山の活動について

新潟地方気象台 火山防災官 吉田知央

新潟地方気象台
Niigata Local Meteorological Office

新潟地方気象台
Niigata Local Meteorological Office

世界の気温の変化



●平均気温が上がっており、最近は特に高くなっている。

出典: 気象庁HP「世界の年平均気温」

2

新潟焼山について

- ・糸魚川市・妙高市にまたがる**活火山**
- ・山頂部には溶岩ドーム、北側には溶岩流が流下してきた地形がみえる
- ・約3000年前(約5000年前という説もある)から活動し始めた新しい火山
- ・焼山は国内に複数あるため「新潟焼山」と呼んでいる(秋田県にある焼山は「秋田焼山」)



コロナの状況を見ながら実施

集落センターでの説明用に、新潟気象台の吉田火山防災官のプレゼンを録画するなど準備を進めていたが、オミクロン株の流行により休止中

糸魚川ジオパークのボトムアップ活動をさらに推進できた

糸魚川白嶺高校との共働

- ・ 学習内容を一緒に考えながら進めた防災学習、紙芝居作り
- ・ ジオパークのネットワークを生かした講師陣
- ・ 2月4日に室戸GPの防災国際ワークショップで成果発表

地元との共働

- ・ 焼山の麓に住む(愛好会)の方との共働
- ・ 地域住民参加型のジオツアー(水がテーマ)の開催
- ・ 集落単位の防災学習 & 避難計画の推進

ボトムアップのジオパーク活動を更に推進!!
時間がかかっても、みんなと一緒に普及・発信を継続していこう!!

